令和6年8月1日（年4回発行）　第667号

交通あいち

特集
令和6年度理事会・評議員会、開催
秋の全国交通安全運動
6月末までの交通死亡事故発生状況
地区の活動

夏号
2024

【発行所】
一般財団法人　愛知県交通安全協会
愛知県交通安全活動推進センター
〒462-0021 名古屋市北区成願寺1-6-50
電話 052-981-7587（代表）
ホームページアドレス
https://www.aichi-ankyo.jp/

二畳ヶ滝（豊田市）

酷暑でも、心爽やか安全運転

秋の全国交通安全運動 9月21日（土）から9月30日（月）までの10日間

運動重点
- 反射材用品等の着用推進や安全な横断方法の実践等による歩行者の交通事故防止
- 夕暮れ時以降の早めのライト点灯やハイビームの活用促進と飲酒運転等の根絶
- 自転車・特定小型原動機付自転車利用時のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底

ストップ・ザ・交通事故　高めようモラル　守ろうルール

優良交通安全協会を表彰

令和5年度中、交通安全活動に功労のあった優良交通安全協会の表彰を行いました。受賞された協会は次のとおりです。

中部管区警察局長・中部交通安全協会協議会長連名表彰

・緑区交通安全協会
・春日井交通安全協会　・蒲郡交通安全協会

愛知県警察本部長・愛知県交通安全協会長連名表彰

・愛知県交通安全協会蟹江支部・知多交通安全協会
・愛知県交通安全協会安城支部

表彰式

理事会・評議員会を開催

●理事会

当協会第32回理事会を6月6日(木)、ホテルメルパルク名古屋(名古屋市東区)で開催し、令和5年度の事業報告や財務諸表等は原案どおり可決、承認されました。

●評議員会

令和6年度定時評議員会を、6月27日(木)にホテルメルパルク名古屋で開催し、諸議案は原案どおり可決、承認されました。

秋の全国交通安全運動

2024年9月21日(土)から9月30日(月)までの10日間

夕暮れ時に要注意!!

歩行者・自転車利用者を守ろう

「秋の日はつるべ落とし」と言われるように、あっという間に日が暮れます。薄暗くなった夕暮れ時、運転者からは歩行者や自転車の動きが見えづらくなる上、仕事や学校からの帰宅時間と重なり、歩行者や自転車利用者が交通事故の被害にあう危険性が高まります。

この時期は、夕暮れ時から夜間にかけて重大事故が多くなる傾向にあるほか、歩行者や自転車利用者の交通事故死者のうち65歳以上の高齢者の占める割合が高くなっています。また、歩行者、自転車利用者側の法令違反に起因する交通事故も発生しています。

こうした状況を踏まえた運動重点を掲げ、「秋の全国交通安全運動」が実施されます。県民総ぐるみで展開し、全力で交通事故防止に取り組みましょう。

運動重点

反射材用品等の着用推進や安全な横断方法の実践等による歩行者の交通事故防止

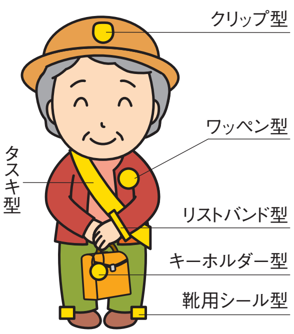
(1) 歩行者の交通事故防止対策

●全ての年齢層を対象に、反射材用品、LEDライト、明るい目立つ服装などの視認効果を周知するとともに、自発的な着用を促そう。

●通学路や未就学児が日常的に集団で移動する経路などでの見守り活動を推進しよう。

●「ゾーン30」「ゾーン30プラス」(最高速度30km/hの区域規制とハンプや狭さくなどの物理的デバイ

《いろいろな反射材》



スを組み合わせ、交通安全の向上を図る区域）の整備や通学路の安全点検など、交通安全対策を推進しよう。

(2)歩行者の交通ルール遵守の徹底

●横断歩道を渡る、信号機のある場所では信号に従うなどの基本ルールや、歩きスマホの危険性などの周知を図ろう。

●横断歩道では、運転者に横断の意思を伝え、横断前、横断中も安全確認を図り、運転者には会釈するなどの「ハンド・アップ運動」の実践を図ろう。

●歩行中の事故防止のため、幼児や児童、高齢者などに、年齢事情に応じた交通安全教育を推進しよう。

運動重点
夕暮れ時以降の早めのライト点灯やハイビームの活用促進と飲酒運転等の根絶

(1)夕暮れ時以降の交通事故を防止する取組

●自動車、自転車前照灯の早めの点灯をする「ライト・オン運動」を推進、また、自動車運転者は、夜間の対向車や先行車がいないときのハイビームの活用促進を図ろう。

(2)運転者の歩行者優先意識の徹底とながらスマホの防止対策

●横断歩道では、直前で停止可能な速度での進行義務や歩行者等優先義務等の遵守を推進しよう。

●交通ルール遵守、「思いやり・ゆずり合い」運転の実践など、「交通安全スリーS運動」を推進しよう。

●運転中のスマートフォン等の使用や注視の危険性を広報啓発しよう。

(3)飲酒運転の根絶

●「飲酒運転四（し）ない運動」や「ハンドルキーパー運動」を推進しよう。

(4)妨害運転等の防止対策

●悪質、危険な運転防止のため「思いやり・ゆずり合い」運転や、ドライブレコーダーの普及を広報啓発しよう。

(5)高齢運転者の交通事故防止対策

●加齢に伴う身体機能の変化を踏まえた交通安全教育や運転免許の自主返納制度の啓発を図ろう。

●安全運転サポート車の普及啓発やサポートカー限定免許制度を広報啓発しよう。

(6)後部座席を含めた全ての座席のシートベルト着用とチャイルドシートの正しい使用の徹底

●「カチッと１００！」を合言葉に着用の徹底を図ろう。

(7)二輪車の交通事故防止対策

●乗車用のヘルメットの正しい着用やプロテクターの着用を広報啓発しよう。

運動重点
自転車・特定小型原動機付自転車利用時のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底

(1)自転車利用者の乗車用ヘルメット着用と安全確保

●全ての自転車利用者に乗車用ヘルメット着用の努力義務化を踏まえて、着用の徹底を図ろう。

●夕暮れ時の早めの灯火点灯と反射材用品等の取付けを推進しよう。

(2)自転車の交通ルール遵守の徹底と新たなルール（ながらスマホ及び酒気帯び運転禁止の厳格化）の周知

●「自転車安全利用五則」に従った通行方法遵守の徹底を図ろう。

●信号の遵守、交差点での一時停止のほか、夜間無灯火走行、飲酒運転、二人乗り、並進の禁止など交通ルール遵守の徹底を図ろう。

●スマホ使用時や傘差し等の片手運転、イヤホン等使用の運転の危険性を周知をしよう。

(3)特定小型原動機付自転車利用時のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底

●16歳未満の運転禁止や車道通行の原則などの周知を図り、乗車用ヘルメット着用も推進しよう。

８月５日は「タクシーの日」
愛知県タクシー協会
〒466-8558 名古屋市昭和区滝子町30番16号
愛知県自動車会館4階
電話 052-881-1315
https://www.aitakyo.com/

KICTEC
社会インフラに寄り添う
株式会社キクテック
本社 〒457-0836 名古屋市南区加福本通1丁目26番地
TEL 052-611-0680 FAX 052-613-3934
中部事業所
TEL 0569-48-1145 FAX 0569-48-8255
www.kictec.co.jp

昨年より1割減少

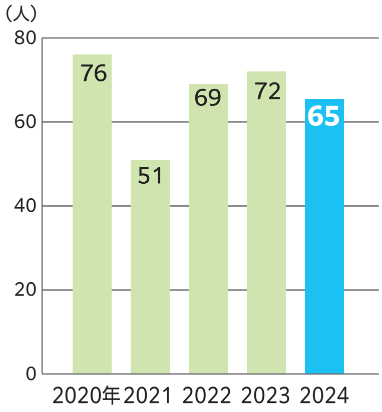
愛知県内の交通死亡事故発生状況
（令和6年6月末現在）

前年比、7人減

交通事故死者数の年別推移

6月末までの県内の交通事故死者数は65人で、昨年同期より7人減。過去2年間の増加傾向から減少に転じました。

■交通事故死者数の年別推移（愛知県、6月末まで）

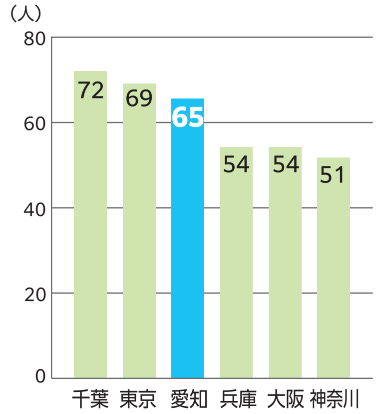


全国ワースト3位

都道府県別交通事故死者数

都道府県別では全国ワースト3位。依然上位にあり、下半期には更なる交通事故防止が望まれます。

■都道府県別交通事故死者数（6月末まで）

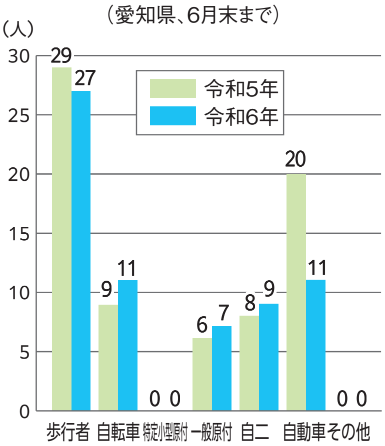


歩行者が4割

当事者別交通事故死者数

当事者別では、歩行者が27人。全体の41・5%を占めています。自転車の11人を合わせると58・4%となり、交通弱者の被害が大きくなっています。

■当事者別交通事故死者数（愛知県、6月末まで）

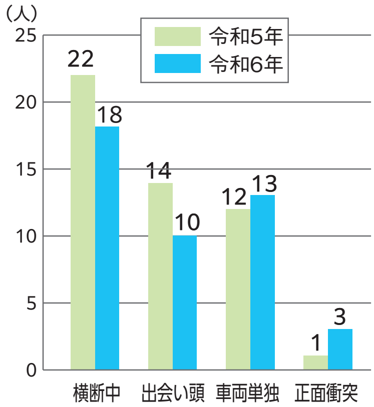


横断中が多発

主な事故類型別交通事故死者数

横断中が18人で、全体の27・7%を占めています。また、車両単独が13人で、昨年より1人増加、20・0%となっています。

■主な事故類型別交通事故死者数（愛知県、6月末まで、4類型合計44人）

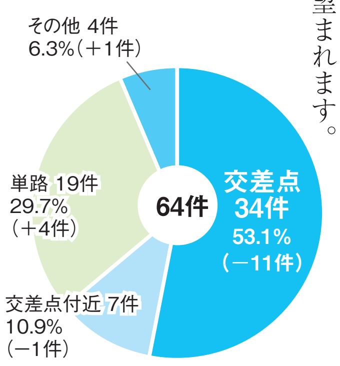


交差点で5割以上発生

道路形状別発生状況

道路形状別では、交差点で多発。34件で全体の53・1%を占めています。交差点付近の7件を含めると6割以上となり、交差点周辺での交通事故防止徹底が望まれます。

■道路形状別発生状況（愛知県、6月末まで）

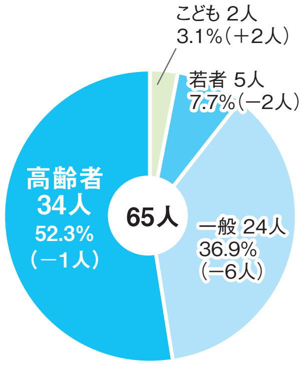


高齢者が半数以上

年齢層別交通事故死者数

年齢層別では、高齢者が34人で全体の52・3%を占めており、引き続き高齢者の交通事故防止対策が重要です。また、こども2人、幼い命が失われています。

■年齢層別交通事故死者数（愛知県、6月末現在）



安全運動　協賛：愛知県自動車販売店協会

いすゞ自動車中部株式会社
愛知トヨタＷＥＳＴ株式会社
愛知トヨタＥＡＳＴ株式会社
ＮＴＰ名古屋トヨペット株式会社
トヨタカローラ愛知株式会社
トヨタモビリティ中京株式会社
トヨタカローラ名古屋株式会社
ネッツトヨタ中部株式会社
トヨタモビリティ東名古屋株式会社
愛知日産自動車株式会社
日産自動車販売株式会社名古屋支社
日産プリンス名古屋販売株式会社
東愛知日産自動車株式会社
三河日産自動車株式会社
ＵＤトラックス株式会社中部支社
愛知日野自動車株式会社
北愛知三菱自動車販売株式会社
西日本三菱自動車販売株式会社中部営業本部
豊橋三菱ふそう自動車販売株式会社
三菱ふそうトラック・バス株式会社東海ふそう
西尾張三菱自動車販売株式会社
名南三菱自動車販売株式会社
スバル東愛知販売株式会社
名古屋スバル自動車株式会社

令和7年使用 交通安全
年間スローガン(標語)募集

一般部門 応募資格／どなたでも応募可能

【A】運転者(同乗者を含む)に呼び掛けるもの

〈A-1〉交通ルールの遵守と運転マナーの向上(横断歩道等における歩行者保護、運転中のスマートフォン等の使用禁止、他の車への思いやりの気持ち、あおり運転の禁止など)

〈A-2〉飲酒運転の根絶

〈A-3〉後部座席を含めた全ての座席におけるシートベルトとチャイルドシートの正しい装着

〈A-4〉前照灯の早めの点灯(夕暮れ時の前照灯の早めの点灯により、歩行者の早めの発見、自分の車の存在を周囲に知らせることなど)

〈A-5〉高齢運転者の交通事故防止

【B】歩行者・自転車・特定小型原動機付自転車利用者に呼び掛けるもの

〈B-1〉交通ルールの遵守とマナーの向上(横断歩道等における交通ルールの遵守など、歩行者は回り道でも横断歩道を横断すること、横断するときは手を挙げて運転者に横断する意思を明確に伝えること、車の直前・直後や横断が禁止されている場所を横断しないこと)(自転車は交差点に入る前に一時停止や安全確認をする)(特定小型原動機付自転車は16歳未満運転禁止。信号や一時停止等の道路標識に従う)(ながら運転の禁止)

〈B-2〉夕暮れ時と夜間における交通事故防止(反射材用品、ライトの活用)

〈B-3〉自転車の安全利用(自転車の運転者は、加害者にも、被害者にもなる両面を持っていること)(全ての年齢層に対する乗車用ヘルメットの着用、車道は左側を通行、歩道は歩行者優先で車道寄りを徐行)

〈B-4〉特定小型原動機付自転車の安全利用(道路運送車両の保安基準への適合、車道通行の原則、乗車用ヘルメットの着用)

こども部門 応募資格／中学生以下

こどもたちに交通安全を呼び掛けるもの(特にテーマは定めない)

応募方法 はがき1枚にスローガン1点(句読点はつけない)。応募部門、重点テーマの番号(A-1、B-2など、子供部門は不要)、住所、氏名、職業(高校生以下は学年、学校名=所在地、電話番号も明記)、電話番号を明記する。〈企業、団体、学校、学級ごとの一括応募も可、その場合、1作品ごとに企業名や団体名、学校名に所在地、電話番号、学年、代表者名(教師など)を記せば、本人は氏名のみで可〉応募数に制限はなく、多数応募の場合は、はがき同様の厚さ、大きさの紙を使って一括送付してもよい。作品は自作、未発表のものに限る。

※入賞作品の著作権など一切の権利は主催者に帰属するものとし、応募作品は返却しません

※申し込みに関わる個人情報は毎日新聞社で管理し、選考や表彰に必要な場合のみに使います

締切り 令和6年9月24日(火)(消印有効)

送り先 〒100-8051東京都千代田区一ツ橋1-1-1
毎日企画サービス内「交通安全年間スローガン」事務局

発表 令和6年11月下旬の毎日新聞紙上とホームページなど

賞 •内閣総理大臣賞〈最優秀作、各部門1点〉=賞状と賞金5万円(ただし、小・中学生には本人に3万円、在学校に2万円の図書カード)

•その他、内閣府特命担当大臣賞、文部科学大臣賞、警察庁長官賞、全日本交通安全協会会長賞

●主催／(一財)全日本交通安全協会・毎日新聞社

●後援／内閣府・警察庁・法務省・文部科学省・厚生労働省・経済産業省・国土交通省・NHK

●協賛／全国共済農業協同組合連合会

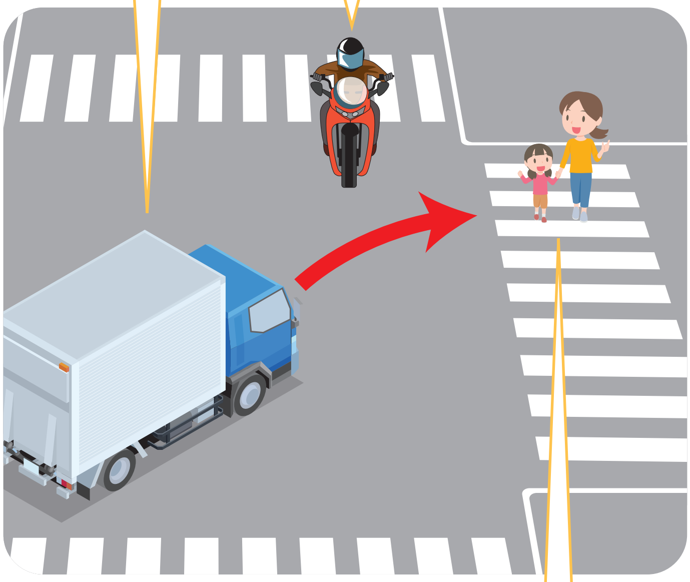
交差点で
右折時の事故多発

愛知県内では、交差点で右折時に交通死亡事故が多発しています。

発生状況

●右折時に対向車両の確認を怠り、直進車両と衝突

●スピードの出し過ぎや信号の変わり目に無理に交差点に進入し、対向車両と衝突



●右折先の横断歩行者や自転車を見落として衝突

交差点内は
徐行と安全確認の徹底を!!

ドライバーは

●交差点で右折する時は、あらかじめできる限り道路の中央に寄って、交差点の中心の直近の内側を徐行

●急いでいる場合でも、ゆとりある運転を心掛け、安全な速度と確実なハンドル操作で進行

●二輪車は他の車両運転者から確認されにくい場合があり、右折車両があるときは、その動きに十分注意を払う

歩行者・自転車利用者は

●道路を横断する時は、信号が青でも右折・左折車両が来ないか、安全確認を徹底

9/21(土)～30(月) 秋の全国交通

愛知ダイハツ株式会社
東海マツダ販売株式会社
株式会社ホンダモビリティ中部
株式会社ホンダカーズ愛知県央
株式会社ホンダカーズ東海
株式会社ホンダカーズ三河
株式会社ホンダ小牧
株式会社ホンダ販売名東
株式会社ホンダウイズ
株式会社ホンダ東販売
愛知スズキ販売株式会社
株式会社スズキ自販中部
株式会社スズキ自販東海
エフエルシー株式会社
株式会社ユーノス三昌
株式会社ユーノスファミール
株式会社ヤナセ名古屋営業本部
ヤナセバイエルンモーターズ株式会社名古屋営業部
NTPインポートHD株式会社
株式会社ホワイトハウス
ADWホールディングス株式会社
愛知クライスラー株式会社
中京クライスラー株式会社
株式会社名鉄アオト
株式会社ウィン
株式会社ホンダカーズ愛知南
株式会社ごとう自動車
株式会社ホンダオート刈谷
株式会社ホンダカーズ東尾張
株式会社マツダアンフィニ瀬戸
株式会社シュテルン名古屋南

令和6年使用 交通安全ポスターデザインコンクール

愛知県の3人が入賞

（一財）全日本交通安全協会が毎日新聞社と共催して行った「令和6年使用交通安全ポスターデザイン」コンクールで愛知県から3人が入賞しました。

●こども部門（こどもたちに交通安全を呼び掛けるもの）
内閣総理大臣賞　西川明日香

●一般部門B
（歩行者・自転車利用者に呼び掛けるもの）
内閣府特命担当大臣賞　尾関裕美

●こども部門
（こどもたちに交通安全を呼び掛けるもの）
警察庁長官賞　細江真央

自転車安全教育指導員講習会を開催

当協会と愛知県自転車安全教育推進委員会は、自転車安全教育指導員講習会を5月26日（日）、あいち自動車学校（名古屋市北区）で開催しました。

県内各地域から39人が参加し、講義と実技を通して安全な自転車利用のための指導方法を研修。参加者に指導員証が交付されました。

募集　令和6年度 交通安全ファミリー作文コンクール

作文の題材

家庭、学校、地域などで交通安全について考え、話し合った内容や方法、その結果実行していることなどを作文にしてください。

応募方法

■応募締切り／9月13日（当日消印有効）まで
■応募区分／●小学生の部 ●中学生の部
応募作品は応募時点の学年で書いたもので未発表のもの、1人1作品に限ります。内容にふさわしい題名をつけ、字数は1200字程度。小学1、2年生は400字から1200字程度、小学3～6年生は800字から1200字程度でも可。原稿用紙の1行目には題名、2、3行目には「学校名・学年」「氏名」を記入、題名、氏名などは字数に含みません。作品に応募票を添えて郵送。（電子メールで応募する場合は、Microsoft Wordを使用し、原稿用紙ファイル（1枚当たり20字×20行）で作成または手書きの原稿をスキャンし、応募票を添付、メール件名を「交通安全ファミリー作文の応募」とし、左記アドレスに送付）

応募先

〒140-0002 東京都品川区東品川4-12-1 品川シーサイドサウスタワー12F （株）オーエムシー内「交通安全ファミリー作文コンクール係」☎03-6810-1072 Eメール sakubun2024@omc.co.jp

賞（両部門とも）

最優秀作・内閣総理大臣賞1点、国務大臣・国家公安委員会委員長賞各学年1点以内、文部科学大臣賞1点以内、警察庁交通局長賞各学年3点以内

最優秀作受賞者は、令和7年1月開催予定の第65回交通安全国民運動中央大会で表彰の予定

入賞作品は警察庁ホームページ「交通安全ファミリー作文コンクール」に掲載します。

その他

●審査の結果は、入賞者本人宛て通知します（学校など団体希望の場合は団体へ通知）。●応募作品は、一切返却しません。●応募作品の一切の権利は警察庁に帰属します。●個人情報は本コンクールの運営に必要な範囲内で利用します

●主催／警察庁、（一財）全日本交通安全協会、（公財）三井住友海上福祉財団、（一財）日本交通安全教育普及協会
●後援／内閣府、文部科学省
●協賛／全国共済農業協同組合連合会

一般社団法人 愛知県トラック協会
会長　寺岡洋一
毎月9日はトラック安全デー
〒470-0207 みよし市福谷町西ノ洞21番地127
☎0561-76-2006　http://www.aitokyo.jp

公益社団法人 愛知県バス協会
会長　瀧　修一
副会長　荻本　正久
副会長　折戸　秀郷
専務理事　小林　裕之
〒466-8558 名古屋市昭和区滝子町30番16号
Tel.(052)613-8133

コノハけいぶ

県警だより

二輪車の交通事故防止

日頃から、通勤やレジャー等で二輪車を利用されている方へのお願いです。

二輪車は、機動性のある便利な乗り物ですが、交通事故に遭うと身体が外部にさらされていることで大きな衝撃を直接受けることとなります。

二輪車を利用するときは、二輪車の特性、自分の運転技術等を十分に理解して、安全運転に努めましょう。

プロテクターやエアバッグジャケットを活用しましょう!

二輪車事故の負傷部位は頭部のほかに、**胸部**や**腹部**も多いことが特徴です。

万が一の交通事故に備えて、プロテクターやエアバッグジャケットを着用して、被害を軽減しましょう。

また、ヘルメットのあごひもも、しっかりと締めましょう。

愛知県警察

交通安全の願いを込めて 地区の活動

▲新入学児童を対象とした参加・体験型交通安全教室を開催(岡崎)

▲岡崎市子ども自転車大会を開催(岡崎)

▲がまごおり温泉郷の女将さんたちが交通安全啓発活動を実施(蒲郡)

▲「東三河の交通安全を願って」交通安全広報を実施(豊川)

やめよう 青空駐車!

めざそう安全と環境保全

主な業務

自動車保管場所現地調査
安心・ゆとり・助け合いの自動車共済・自賠責共済の取り扱い
高速道路通行料金ETCカードの共同精算事業

*県下の各組合(協会)でも扱っています。

(一社)愛知県自家用自動車協会 会長
中部自動車共済協同組合 理事長
愛知県自家用自動車事業協同組合 理事長
岩田 功

〒466-8558 名古屋市昭和区滝子町30番16号 電話(052)872-4861

大好評! 学生キャンペーン実施中!!

免許取得のお問い合わせ、お申し込みは、

あいち自動車学校 0120-433-554
名古屋市北区成願寺1-6-50

一宮自動車学校 0120-816-138
一宮市島村字下老光寺120番地

岡崎自動車学校 0120-183-051
岡崎市不吹町14

交通安全啓発 地区の活動

小学校初登校児童の見守り活動(中)

レーズンパンを配って「交通事故0(レー)」キャンペーン(西枇杷島)

セーフティレデースによる反射材の配布(犬山)

歩行者安全確保・二輪車事故防止キャンペーン(足助)

自転車ヘルメット着用推進キャンペーン(西尾)

大型車の死角・内輪差の危険性を学ぶ交通安全教室(豊田みよし)

サイン板、のぼり旗を掲げ交通安全大監視(緑)

交通少年団による横断歩行者保護キャンペーン(守山尾張旭)

地元特産品「タマネギ」を配って交通安全広報(安城)

飲酒運転撲滅キャンペーン(半田)

交通事故撲滅キャンペーン(豊橋)

国道沿いで交通安全立哨活動(あいち自動車学校)

自転車ヘルメット着用推進キャンペーン(一宮)

シートベルト着用キャンペーン(瀬戸)

交通大監視(岡崎自動車学校)

ダミー人形を活用した交通安全教室(碧南)